

乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症予防を目的とした簡易モニター  
“ナイトウォッチ”

名古屋市立大学病院小児科 戸川 創

現在市販されている各種のモニター類のうち、「SIDSの発症予防」を第一の目的に挙げているモニターはあまり多くはない。しかし、ことに米国、英国では、病院ばかりでなく、すでに一般家庭においてこれらSIDS用モニターが一部で汎用されており、注目されている。

本邦においては、近年になってSIDSそのものが医療従事者あるいは一般市民の興味をひくところとなっただけであることと、本疾患の研究者の中にモニタリングによる発症予防効果に懐疑的な見解を持つものがあることから、広く普及するには至っていない。

SIDSは、「それまでの健康状態および既往歴からその死亡が予測出来なかった乳幼児に突然の死をもたらした症候群」とされていることから明らかなように、全く健康な乳幼児に発症する疾患である。その発症年齢は、4-5カ月にピークを示し（諸外国では2-3カ月）、6カ月以降では少なく、1才以降はきわめてまれである。発症のほとんどが睡眠中で、翌朝、死亡状態で発見されることが多い。その8割は家庭で発症しているが、託児所、病院で2割が発症しており、何処でも起こる疾患である。

一般家庭での発症に関しては、従来、母親の過失が問われた時代もあったが、近年では、本疾患の啓蒙普及により、事故ではなく疾病と理解されるようになった。しかし、託児所や病院内発症に関しては、児のみを預かっていることから、事故あるいは過失ととられることも多く、訴訟に発展している事例が少なからずみられている。

SIDSを意識したモニタリングの歴史は、そのほとんどが発症率の低下の観点から評価されており、全く健康な乳幼児全例に装着しない限り好結果が得られることは難しい。一方で、SIDSを経験した家族にあつては、次子が出生した場合、この子も突然死ぬのではないかという不安を抱える事実は、本疾患を経験しない者にとって想像を超えたものである。このような家族にとっては、たとえモニタリングによる完全予防効果が総論として否定的であっても、不安解消の意味と、児に十分手を掛ける点で、きわめて意義が高いことになる。SIDSの予防を目的にモニタ

リングを考えると、上述のいくつかの状況を想定した上で、最も適したモニターが用意されるべきである。その状況には、大きく分けて以下の5つが挙げられる。

1. ハイリスク児を対象とした家庭用のモニター
2. 健康乳幼児を対象とした託児所用モニター
3. 健康成熟児を対象とした産科新生児室用のモニター
4. 退院間近の元気な新生児・乳児を対象としたNICUのコット用モニター
5. 最重症期を過ぎてコットに移床した病的新生児を対象としたNICUコット用モニター

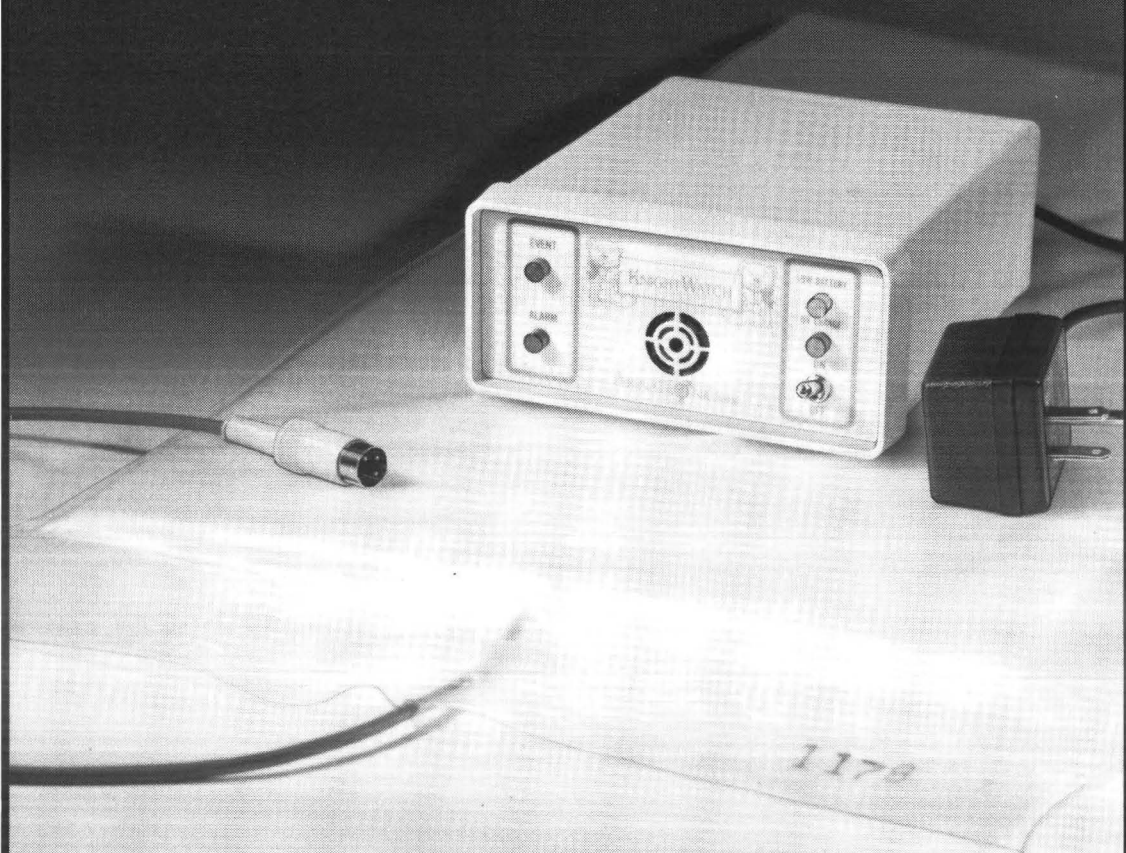
1のハイリスク児を対象とした家庭用のものは、心電・呼吸の両者を同時モニタリングするもので、1カ月程度のメモリーが内蔵され、後に解析できるものであるとよい。

2の健康乳幼児を対象とした託児所用、3の健康成熟児を対象とした産科新生児室用のもの、それに4の退院間近の元気な児を対象としたNICUのコット用のものは、まさに最も安価で呼吸だけをモニターするものでよく、必ずしもメモリーを必要としない。

5の最重要期を過ぎてコットに移床した病的新生児を対象としたNICUのコット用のものは、小型の心電・呼吸の両者を同時モニタリングするもので、必ずしもメモリーを必要としない。

「ナイトウォッチ」は、まさに上記2、3、4の全てに該当するモニターであり、さらなる普及により、ことに病院内発症のSIDSが1例でも防がれることを期待する。

PERINATRONICS INC.



# KNIGHTWATCH

赤ちゃんの呼吸と動きをモニターします。

ナイトウォッチは、誰も赤ちゃんのそばに付いていない時でも、赤ちゃんの呼吸と動きをモニターします。

マットレスとシーツの間に「センサーパッド」をはさみます。

呼吸あるいは動きを認めると、「EVENT」と表示したグリーンランプが点滅します。

呼吸あるいは動きが約20秒間停止すると「ALARM(警報音)」と表示した赤いランプが点滅し、断続的にアラームが鳴ります。

この使用方法をよく読んで十分理解しナイトウォッチを正しく取り扱って下さい。

製造承認番号 4BY350

発売元

**MEIRA 泉工医科工業株式会社**

輸入元

**マルカメディテック株式会社** 大阪府茨木市五日市緑町2番28号

■本社/東京都文京区本郷3-23-13 TEL.(03)3812-3251FAX.(03)3815-7011  
■営業所/札幌・旭川・函館・帯広・青森・秋田・仙台・福島・つくば・大宮・横浜・甲府・名古屋・静岡・金沢・新潟・大阪・高松・松山・広島・岡山・福岡・鹿児島

製造元

PERINATRONICS INC.